

「福祉のまちづくりフォーラム2023」開催要項

1. 趣 旨

高齢化の中で人口減少が進行している日本では、福祉ニーズが多様化・複雑化しており、世代や分野を超えてつながることで、誰もが役割を持てる地域共生社会が求められています。しかし、人と人とのつながりが希薄化している今、コロナ禍の影響もあったことで、地域住民同士の顔の見える関係がなくなりつつあります。

本フォーラムでは、人それぞれの違いや能力を認め・支え合い、社会参加できるまちづくりについて考える機会を目的として開催します。

2. 主 催 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

3. 日 時 令和5年10月27日(金) 13:00~16:00

4. 開催方法 オンライン (Zoom)

5. 開催内容

13:00~13:10 開会

13:10~13:55 実践レポート①

「“ごちゃませ” パワーで居場所をつくる！ 地域生活を支える！

～「地域共生社会」実現への取り組み～

一般社団法人 共生社会実現サポート機構

代表理事 山内 勇人 氏

ちょこっと立ち寄れる「しゃべり場」、気軽に相談できる「まちなか保健室」、子ども食堂ならぬ誰でも立ち寄れる「ごちゃませ食堂」などの「居場所」を、医療・保健・介護・福祉の専門職と、認知症のひと、障がいを持つ当事者、高齢者、地域の方々、高校生、大学生などが“ごちゃませ”で運営し、コロナ禍も休まずに活動されていました。

さらに、インフォーマルでの生活支援サービス(食、お出かけ、入浴、買い物、台風時の避難所など)も“ごちゃませ”で創出し、年内には「住まいの場」も始められる予定です。病気、障がい、年齢、性別、職業といった背景や立場を超えて、誰もが尊いひとりの人であるという考えのもと、支援する側・される側に分けるのではなく、『互いに支え・支えられる地域』、誰にも役割があり、孤立せず、必要とされ、感謝され、『地域のために活動できる地域』を作ることによって、自分らしく生きることができる“共生社会のロールモデル”を発信されています。

13:55~14:40 実践レポート②

「小中学生が参加する見守り・声掛け・交流活動の取り組みについて」

埼玉県・鶴ヶ島市社会福祉協議会 地域福祉 主幹 牧野 郁子 氏

地域福祉コーディネーター 大井 清子 氏

地域福祉コーディネーター 北堀 尚美 氏

地域福祉コーディネーター 原埜 恵李 氏

埼玉県の中部に位置する鶴ヶ島市では、「支え合いのまちづくり」を掲げ、高齢者らの孤立を防ごうと、地域づくりを進められています。

心と心をつなげるネットワーク（ここつなネット）とは、見守りや声掛けなどの交流を通して、顔見知り、気にかけてくれる関係性をつくり見守りあう活動です。個別チームを作り、散歩時の見守り・電話、災害時の安否確認、小中学生が協力者として参加し、毎月「地域づくりだより」を配布しご近所同士のつながりを持っています。

また、中学生が活躍するごみ出しボランティアでも、見守り・声掛け・交流活動などにつながっています。

14:40～14:50 休憩

14:50～15:50 講演

「包括的支援体制と共生のまちづくり」

関西学院大学 人間福祉学部 教授 藤井 博志 氏

大阪市に生まれ、兵庫県社会福祉協議会、大阪府立大学、神戸学院大学を経て現在に至り、2017年から関西学院大学 人間福祉学部の教授として教鞭を執られています。

地域福祉・コミュニティワーク・地域福祉計画を専門分野とし、アクションリサーチ、フィールドワークを方法として、現場にコンタクトし、現場と実践開発を行う地域福祉実践研究を方法とされています。

15:50～16:00 閉会

6. 参加対象 社協役職員、福祉に関する団体、福祉活動に関心のある方

7. 参加費 無 料

8. 参加申込 ・参加申込フォームにて、令和5年10月13日（金）までにお申し込みください。

⇒【申込フォーム】 <https://forms.gle/TxUtnRZFajF5xoSQ7>

※右記 QR コードからもアクセス可能です。



9. その他 ・パブリックビューイング（集合型）を予定している場合は、申込者氏名は一人で構いません。

ただし、参加申込フォーム内の参加人数にお答えください。（予定人数で構いません）

・複数名で参加申込みをされ、使用するパソコンが2台以上の場合、参加申込フォームにて申し込みがあったメールアドレスにフォーラムの資料及びZoom参加のURLを送付します。その後、参加される方への展開をお願いします。

照会先

岐阜県社会福祉協議会 総務企画部

地域福祉・ボランティア担当（担当：小寺）

TEL：058-201-1546

E-mail：koderamoe@winc.or.jp